

留学一年を終えて

中津高等学校 林 昌佐美 (カナダ)

留学1年を終えた今、1番の感想は「まだ帰りたくない」というものです。正確には10ヶ月と2週間の留学でしたが、カナダに行ったばかりのときは10ヶ月がこんなにも早く経つとは思っていませんでした。留学中は様々な場所に行き、たくさんのものを見て、多くのことを経験することができました。

留学をして一番感じたことは言語のすごさです。一つの言語で無限の可能性につながります。年齢も性別も宗教も文化も国も超え、多くの人とつながることができます。友達の一人は日本語に興味を持ち、今はカタカナとひらがなをかけるようになるほど練習し、日本に興味を持ってくれるようになったことはとても嬉しいことだと思います。日曜日には教会にホストグランマと一緒にきました。多くの方はキリスト教徒ですが、他宗教にも理解を示していることはとてもいいことだと思います。また日本だと政治の話はタブーだといわれますが、カナダではそのようなことはなく、選挙期間中はみんな政治の話ばかりでした。選挙権もまだない高校1年生でさえも、政治について議論したり、授業中の私語が政治についてだったりしたことは個人的にすごく面白いと思いました。

学校といえば、私はHJCody Schoolという公立の学校に通いました。後期、私は生物・英語・フード・演劇・アウトドアの5つの授業をとりました。カナダでは必須科目のほかにもたくさんの選択科目があり、自分で好きな授業を受けることができます。選択科目はフード、演劇、アウトドア、吹奏楽や美術、技術、ヨガ、体育、メイク、写真、フィルムなどがあります。必須科目は日本と同じ科学、英語、数学、社会です。カナダの学校は日本の学校とはかなり異なり、スマホを使って授業することもしばしばありますし、パソコンを使った授業も頻繁にありました。教科書

は練習問題を解くとき以外はほとんど使わず、YouTubeの動画を使った授業もあります。KAHOOTやQuizizzというインターネットサイトを使うこともあり、先生や教科書によって授業の仕方は様々です。アウトドアは狩りや野生生物について学ぶ授業です。カナダは自然がたくさんあり、狩りやキャンプなどのアウトドアが人気でした。英語は日本だと国語みたいな感じですが、日本と違って教科書を読むのではなく、本や映画、写



真を使って授業をすることもありました。授業ではライティングとリーディングを主に学び、論文などをたくさん書きました。日本語でもなかなか論文を書くことはないので、初めの頃はだいぶ時間がかかりました。HJCODYでは部活動は任意なので部に入っていない人も結構いました。私は合唱団に入っていて週2回、月曜日と水曜日に放課後4時半まで練習がありました。カナダの公立高校は、日本と違ってみんな自分の好きな服を着てメイクもして好きな色に髪を染めて、好きなだけピアスをしてタトゥーをいれていたりしました。学校側が一人ひとりの個性を尊重しているからこそ、みんなが自由に自分の好きなおしゃれをすることができるのだなと思いました。選択科目が豊富なのも生徒の個性を引き出すうえで大事なことだと思います。その点は日本とカナダの大きな違いだなと思います。でも、いろんな人が一つの場所でたくさんのことを学び、たくさん遊んでたまに失敗する。成長していく。日本でもカナダでもその点ではそんなに違いはなくて、すごくいい点だなと思いました。



フェスティバル オブ カラーに

実際にカナダに行ったからこそ、こういった文化の違いなどを肌で感じることができました。日本にもカナダにもいいところがあり、反面違う点もたくさんあります。その違いを拒否するのではなく、認め合い理解し合っていくことで、言語も国も宗教も文化も年齢も性別も超えて人と人がつながっていくんだということを、留学を通して理解しました。多様な文化、人との出会い



初めての乗馬体験

で本当にたくさんのことを学びました。この10ヶ月楽しいことばかりではありませんでしたが、この10ヶ月のカナダでの経験は全て私の成長につながっています。新しい目標や挑戦したいこともたくさん見つかりました。今まで知らなかった自分にも出会えて自分の課題もよく見えてきました。私の挑戦はまだ始まったばかりなので、新しいことにももっともっとチャレンジしていきます。「留学楽しかった！！」で終わらないよう、これからの生活に生かしていきます。高校生で留学をするという経験ができて本当によかったです。ありがとうございました。